

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷●京丹波

広報 | 京丹波

NO.108

2014年10月17日発行

10月号

子どもたちが
秋空のもとを駆け抜ける

特集 決算



今月の表紙
9月20日に町内4つの小学校で開催された運動会。生徒たちは、秋空のもと、元気いっぱい競技に参加しました。

特集

平成25年度

決算

監査委員の決算審査を経て、九月の議会定例会で平成二十五年年度一般会計と特別会計などの決算が認定されました。歳出決算額は、一般会計が二二億五、七三九万円（二万円未満四捨五入、以下同じ）、特別会計などが七十八億三、六八八万円（財産区会計除く、以下同じ）になりました。

一般会計 歳入

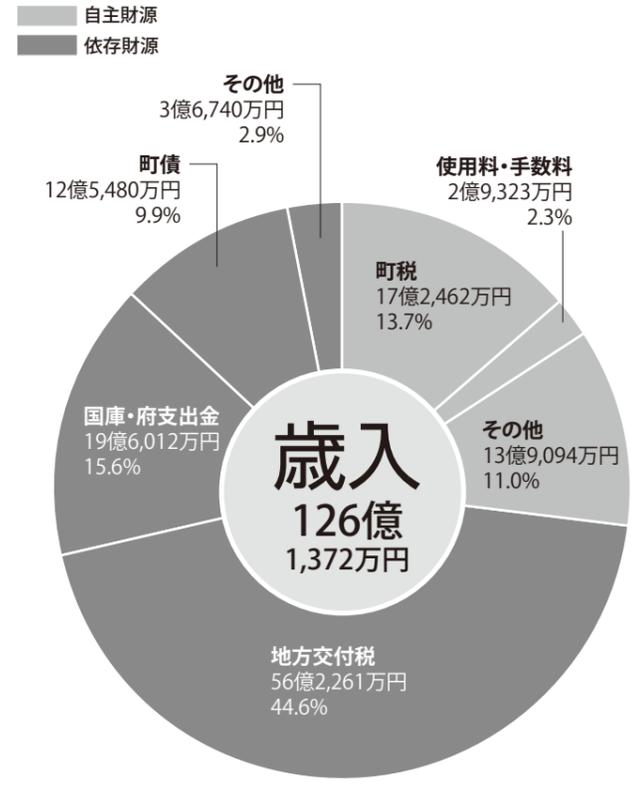
歳入には、町税など町が自らの力で調達できるお金（自主財源）と、国や府から交付されたり、割り当てられたりするお金（依存財源）があります。グラフのとおり、自主財源は歳入全体の

二七・〇％で、残り七三・〇％は国・府支出金（負担・補助・委託金）や町債（借入金）、地方交付税などの依存財源となっています。

自主財源の柱である町税は、収入額が十七億二、四六二万円で、年度内に収入できなかった額は、一億三、九四三万円でした。法令などに定める期間内に収入できなかった額など（不納欠損額）は、五七三万円となりました。昨年度の高額滞納のある法人にかかる不能欠損が影響し、今年度は大幅な減少となりました。京都地方税機構との連携による滞納整理業務はもとより、今後も地道な督促や納税相談、夜間納付窓口の開設などに取り組みることにより、税負担の公平性と自主財源の確保に向けて滞納への厳正な対応に努めるとともに、法令に基づいた適正な処理を行います。

一方、財源の中で最も多くを占める地方交付税は、普通交付税の減はあったものの、前年度に比べ二、九三二万円の増。国・府支出金も五億九、〇六四万円の増となりました。国や府から交付される財源の比率が高い本町では、さらなる収入増は難しい状況ですが、町税などの徴収により財政基盤を強化し、将来の財政需要に向けた取り組みを進めていきます。

一般会計 歳入



一般会計 歳出

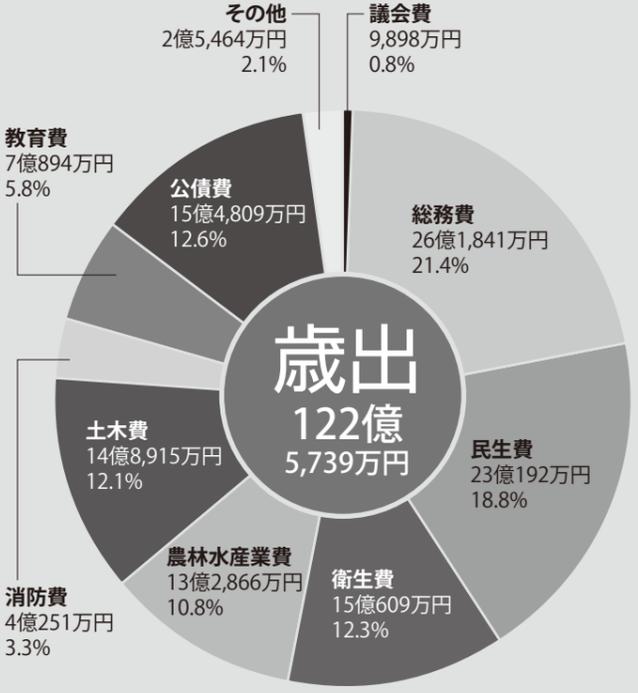
歳出総額は二二億五、七三九万円から歳出と平成二十六年度へ繰り越した事業費（二億九、九九四万円）を差し引いた実質収支額は、五、六三三万円の黒字となりました。

*経常収支比率は前年度に比べ〇・六ポイント増加し、八二・六％となったものの、地方財政健全化法に基づく指標は、実質公債費比率が昨年度と同じ一四・四％、将来負担比率が前年度より改善し二七・二％となりました。（詳細は八ページ参照）

また、町債残高は一四一億三、九五九万円で、前年度末残高から一億一、一四八万円の減。基金（貯金）残高は、今年度から新たに過疎地域自立促進特別基金を積み立てたほか、今後の財政需要に備えるための財政調整基金の積み立てなどを行い、前年度末残高より三億八、九〇四万円増の四十五億八、一九五万円となりました。将来の負担軽減を図るため、財政健全化に向け積極的に取り組んでいきます。

平成二十五年度歳出の主なものは、土地開発公社先行取得用地の債務縮小に向けた土地の買戻し（四億三、〇九四万円）、中山間地域等直接支払交付金（一億一、四〇七万円）、有害鳥獣対策事業（七、七九二万円）、青年就農給付金などを支払う京丹波農場プラン（二、八〇二万円）、本年度中の完成を予定している道の駅「京丹波 味夢の里」を含む丹波パーキングエリア（仮称）と一体的な地域振興拠点整備事業（五億一、四六〇万円）など、費目別には次のページのとおり支出しました。

一般会計 歳出



用語解説 [経常収支比率] 財政構造の弾力性を示す指標。人件費や公債費など毎年度経常的に支出する経費に対して、町税や地方交付税など毎年度経常的に収入できる一般財源がどの程度使われたかを表す比率。数字が上がるほど財政の硬直化が進むことになる。

No.108 CONTENTS

- 2 [特集] 決算
- 9 大規模災害からの速やかな復旧へボランティア活動等に関する協定を締結
- 10 京丹波町職員の給与の状況を公表します
- 12 Dr's Message いきいき健康術
- 13 **FLASH** KYOTAMBA TOWN NEWS 2014
 - 被害にあわないために
 - 特殊詐欺等被害撲滅キャンペーン
 - 交通事故防止を描き受賞
 - 交通安全啓発ポスターコンクール表彰式
 - 活性化の拠点づくりを語る
 - 想い出の学舎活用シンポジウム
 - 助かる命を増やすために
 - 普通救命講習会
 - スポーツの秋に競い合う
 - 町内小学校運動会
 - まずは思考の整理から
 - きらりセミナーII
- 16 秋の丹波路を駆け抜ける「2014京都丹波ロードレース」を開催します

【一般会計】主なもの



畠中源一副町長に対し平成25年度決算審査意見書を手渡す小畑圭一監査委員(写真右)と篠塚信太郎監査委員(写真奥)(役場町長室・蒲生)

有害鳥獣対策事業 ……7,792万円
(捕獲委託、被害防止施設設置など)
農業機械導入補助金 ……799万円
中山間地域等直接支払交付金 ……1億1,407万円
水田農業構造改革対策助成事業 ……1,355万円
(特産物作付奨励、国産飼料推進)
農地・水・保管理支払交付金 ……1,894万円
(市町村負担分)
京の米産地づくり事業補助金 ……482万円
青年就農給付金 ……1,425万円
経営所得安定対策推進事業補助金 ……622万円
集落営農発展型農場づくり事業補助金 ……1,012万円
ほんまもん京ブランド産地支援事業補助金 ……1,128万円
その他農業振興に関する経費 ……3,247万円
(食の祭典運営委託など)
畜産業に関する経費 ……1,340万円
(堆肥による土づくり事業補助など)
農地保全事業補助金 ……6,058万円
下水道事業特別会計への繰出金 ……2億171万円
(農業集落排水)
その他農地保全などに関する経費 ……6,445万円
(土地改良区運営補助など)
山村開発センターの管理 ……896万円
農村情報施設管理費 ……2億3,687万円
(情報センターの管理、職員給与など)
山村振興対策に関する経費 ……4万円
林業総務費 ……2,634万円
(職員給与や林業振興会負担金など)
公有林整備事業委託料 ……1,523万円
緑の公共事業補助金(間伐約10haなど) ……235万円
特用林産物生産振興補助金 ……1億5,000万円

こう使った122億円

その他児童福祉に関する経費 ……1,308万円
(チャイルドシート購入助成など)
母子父子福祉に関する経費 ……1,040万円
(母子医療給付費など)
保育所の運営管理 ……3億1,735万円
(職員給与など含む)
災害見舞金 ……51万円

衛生費 15億609万円

保健衛生総務費(職員給与など) ……1億737万円
検査検診委託料 ……5,068万円
予防接種業務委託料 ……2,688万円
特定健診委託料 ……1,157万円
その他保健・予防に関する経費 ……1,531万円
(妊婦健診助成など)
合併浄化槽設置補助金 ……705万円
住宅用太陽光発電システム設置補助金 ……512万円
下水道事業特別会計への繰出金 ……5,060万円
(浄化槽市町村整備推進)
その他環境衛生に関する経費 ……623万円
(狂犬病予防注射や水質検査委託など)
南丹病院負担金 ……1,924万円
京丹波町病院会計運営補助 ……3億8,266万円
(出資金、利子)
その他診療所に関する経費(事務費など) ……86万円
保健センター改修工事(瑞穂・和知) ……2,102万円
その他保健センターの管理 ……1,402万円
船井郡衛生管理組合分担金 ……2億3,958万円
ごみ処理手数料 ……3,730万円
生ごみたい肥化容器購入助成金 ……25万円
その他ごみ処理対策に関する経費 ……290万円
(資源ごみ集団収集助成など)
水道事業特別会計への繰出金 ……5億745万円

労働費 322万円

緊急雇用創出事業委託料 ……300万円
その他労働対策に関する経費 ……22万円

農林水産業費 13億2,866万円

農業委員会運営に関する経費 ……908万円
農業総務費(職員給与など) ……6,908万円
瑞穂農業公社・丹波ふるさと振興公社運営補助金 ……1,750万円

参議院議員選挙に関する経費 ……1,420万円
町長選挙に関する経費 ……181万円
町議会議員選挙に関する経費 ……1,267万円
京都府知事選挙に関する経費 ……631万円
その他選挙に関する経費 ……47万円
各種統計調査(国勢調査など)に関する経費 ……99万円
監査委員に関する経費 ……54万円

民生費 23億192万円

社会福祉総務費 ……2億6,813万円
(職員給与や、民生児童委員の活動補助など)
国民健康保険特別会計への繰出金 ……1億854万円
和知高齢者コミュニティセンター管理運営委託料など ……79万円
共同作業所運営委託料 ……2,324万円
日中一時支援事業委託料 ……1,117万円
重度心身障害者通院通所支援事業委託料 ……621万円
重度心身障害老人健康管理事業給付費 ……2,918万円
心身障害者医療給付費 ……5,512万円
自立支援医療給付扶助費 ……1,713万円
障害者自立支援給付費 ……3億4,629万円
その他障害福祉に関する経費 ……3,923万円
(日常生活用具の給付など)
外出支援・食の自立支援事業委託料 ……2,407万円
シルバー人材センター運営補助金 ……630万円
老人クラブ連合会活動補助金 ……391万円
後期高齢者医療に関する負担金・繰出金 ……2億5,540万円
老人医療給付費 ……3,605万円
老人ホーム措置費 ……193万円
高齢者生活支援事業実証実験業務委託料 ……150万円
地域包括ケア相談業務委託料 ……567万円
介護施設等整備補助金 ……1億3,340万円
介護保険特別会計への繰出金 ……3億3,633万円
その他老人福祉に関する経費 ……1,320万円
(長寿者報償など)
国民年金事務に関する経費 ……77万円
すこやか祝金 ……655万円
ファミリーサポートセンター事業委託料 ……500万円
子ども・子育て支援計画策定業務委託料 ……210万円
京都子育て医療・すこやか子育て医療給付費 ……3,074万円
子ども手当給付費 ……1億9,264万円

議会費 9,898万円

議会運営に関する経費 ……9,898万円
(議員報酬や職員給与など含む)

総務費 26億1,841万円

一般管理に関する経費 ……4億4,461万円
(職員給与や区長会の運営補助、土地開発公社など各機関への負担金など)
広報京丹波(お知らせ版含む)の発行 ……379万円
例規集サポートシステム委託料 ……313万円
その他文書広報に関する経費 ……287万円
財政管理・会計管理に関する経費 ……353万円
財産管理に関する経費 ……15億5,260万円
(町有財産管理、基金積立金など)
京都丹波ロードレース運営補助金 ……80万円
山陰本線複線化促進協議会など各機関への負担金 ……21万円
その他総合企画に関する経費 ……293万円
和知支所屋根改修工事 ……236万円
町有施設・設備等維持改修工事 ……276万円
町有財産有効活用支援負担金 ……109万円
支所の管理に関する経費 ……1億5,515万円
(職員給与など含む)
公平委員会に関する経費 ……3万円
グリーンランドみずほ管理運営委託料 ……2,000万円
和知駅振興委託料 ……270万円
街灯設置補助金・防犯協会負担金など ……459万円
交通対策に関する経費 ……219万円
(交通指導員運営経費、交通安全協会運営補助など)
町営バス利用促進補助金 ……119万円
町営バス運行事業会計への繰出金 ……6,300万円
自治振興補助金 ……699万円
住民自治組織まちづくり交付金・地域力向上事業助成金など ……390万円
行政情報システムの管理など ……1億5,567万円
国際交流協会への補助金 ……360万円
生涯学習推進に関する経費 ……279万円
(人権政策の推進など)
京都地方税機構への負担金 ……1,399万円
税務に関する経費 ……1億2,878万円
(職員給与など含む)
戸籍住民基本台帳管理に関する経費 ……3,165万円
(職員給与など含む)

特別会計などの決算概要

介護保険事業
事業勘定の歳入は十九億八、三三五万円で、そのうち保険料収入が三億五、一八〇万円（二七・七％）。歳出は十九億七、五一九万円で、保険給付費が十八億九、八五〇万円で、サービス事業勘定の歳入は六六三万円で、歳出は六五九万円で、歳出の主なものは、介護予防サービス計画作成委託料五五五万円となり、老健施設サービス勘定の歳入は一億四、九五五万円で、歳出は一億四、八七四万円で、歳出の主なものは、介護サービス事業費一、六四二万円で、平成二十五年度の利用者数は、長期入所が四六三〇人（前年度比三三七人の減）、短期入所が一、〇七二人（前年度比七十三人の増）でした。

後期高齢者医療
歳入は二億五、六九九万円で、そのうち保険料収入が一億三、七六一万円（六六・九％）。歳出は二億二、八八万円で、後期高齢者医療広域連合への納付金一億九、六九九万円が全体の九七・四％を占めました。

国民健康保険事業
歳入は二十億四、九二九万円で、そのうち国民健康保険税収入が四億二、六六六万円（二九・六％）。歳出は二十億二、二一〇万円で、主なものは、保険給付費十三億五、四六九万円、後期高齢者支援金二億四、二二九万円、人間ドック助成や特定健康診査などの保健事業費三、七三〇万円となりました。

町営バス運行事業
歳入は九、四八四万円で、そのうち運賃収入などの事業収入は三、一〇五万円（三二・七％）。歳出は九、四六二万円で、運行事業費に八、七九七万円を支出しました。

土地取得
歳入歳出共に二十三万円。財産運用収入を基金として積み立てました。

下水道事業
歳入は九億一、四八二万円で、歳出は八億九、六五八万円。歳出の主なものは、農業集落排水費が一億五、二八八万円、公共下水道費が九、五三二万円、浄化槽市町村整備推進施設費が九、七八八万円でした。

会計別歳出決算額

会計名	本年度
一般会計	122億5,739万円
特別会計・企業会計	78億3,688万円
国民健康保険事業	20億211万円
後期高齢者医療	2億228万円
介護保険事業(事業勘定)	19億7,519万円
介護保険事業(サービス事業勘定)	659万円
介護保険事業(老人保健施設サービス勘定)	1億4,874万円
水道事業	14億8,040万円
下水道事業	8億9,658万円
土地取得	23万円
育英資金給付事業	238万円
町営バス運行事業	9,462万円
国保京丹波町病院事業	10億2,776万円

国保京丹波町病院
収益的収支(消費税抜き)は、収入額が八億九、一七九万円、支出額が八億五、九六八万円で、収支差引三、二二一万円の利益。このうち、経常収支は二、四七五万円の利益となりました。医療収益は六億三、〇二二万円となり、医療費用としての支出は八億三、二二二万円でした。平成二十五年度の入院患者数は一万五五七人、外来患者数は京丹波町病院三万三、七八一人、和知診療所一万四、六三七人、和知歯科診療所七、四九五人で、いずれも延べ人数。

教育費 7億894万円

教育総務費……………1億5,118万円
(職員給与や教育委員報酬など)
育英資金給付事業特別会計への繰出金……………117万円
小学校の管理に関する経費……………8,344万円
(職員給与など含む)
小学校の教育振興に関する経費……………4,012万円
(教材、通学バス補助金など)
中学校の管理に関する経費……………5,157万円
(職員給与など含む)
中学校の教育振興に関する経費……………5,628万円
(外国語指導助手報酬、教材、通学バス補助金など)
幼稚園の管理運営に関する経費……………6,406万円
(職員給与など含む)
女性の会活動推進補助金……………100万円
町文化協会活動推進補助金……………20万円
伝統芸能等保存活動補助金……………23万円
青少年育成協会への補助金……………50万円
人権啓発推進協議会への補助金……………100万円
府中部文化芸術祭への負担金……………35万円
その他社会教育総務に関する経費……………877万円
(社会教育委員報酬など)
中央公民館改修事業……………3,638万円
公民館活動に関する経費……………3,309万円
文化財保護に関する経費……………416万円
体育協会への補助金……………400万円
その他社会体育に関する経費……………340万円
(スポーツ推進委員報酬など)
体育施設の維持管理に関する経費……………1,578万円
学校給食費(職員給与など含む)……………1億5,227万円

災害復旧費 1億4,681万円

農地・農業施設の復旧に関する経費……………1,653万円
林業施設の復旧に関する経費……………1,307万円
土木施設の復旧に関する経費……………1億1,720万円

※1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が合わない場合があります。



平成25年度決算について審議する議会の決算特別委員会(役場議場・蒲生)

森林管理道塩谷長谷線開設工事……………1,763万円
(和知地区)
森林整備地域活動支援交付金……………255万円
薪ストーブ設置補助金……………123万円
その他林業振興に関する経費……………1億1,435万円
(林道維持管理など)
わかち林業センターの運営費……………318万円
内水面漁業振興対策事業補助金……………250万円
(和知・由良川漁協への補助)

商工費 1億461万円

商工総務費(職員給与など)……………2,254万円
商工会小規模事業経営支援事業補助金……………1,864万円
商工会プレミアム商品券発行事業補助金……………51万円
その他商工振興に関する経費……………869万円
(消費生活グループ活動補助など)
道の駅「和」・山野草の森・アグリパークわちなどの管理委託料……………2,743万円
質志鐘乳洞公園管理に関する経費……………1,128万円
観光協会運営補助金……………800万円
その他観光振興に関する経費……………752万円
(京都府観光連盟など各機関への負担金など)

土木費 14億8,915万円

土木総務費……………1億589万円
(職員給与や各建設促進同盟会への負担金など)
道路台帳整備委託料……………342万円
道路の維持管理に関する経費……………6,829万円
(道路修繕、交通安全施設整備、除雪作業など)
道路改良工事……………4億9,648万円
その他道路改良に関する経費……………4億9,552万円
(土地購入・測量設計監理など)
河川総務費……………1,065万円
(河川維持管理業務委託・河川修繕工事など)
畑川ダム整備関連事業に関する経費……………3,779万円
都市計画・都市公園整備等に関する経費……………308万円
下水道事業特別会計への繰出金……………2億4,370万円
(公共下水道)
住宅改修補助金……………806万円
地域再建被災者住宅等支援補助金……………259万円
住宅管理に関する経費……………1,367万円
(職員給与や設備保守点検管理など)

消防費 4億251万円

京都中部広域消防組合負担金……………2億4,258万円
消防団の運営、消防施設の維持管理に関する経費……………7,497万円
防火水槽設置(5カ所)……………2,486万円
消防車両購入費……………4,536万円
(救助資機材搭載型車両1台、小型ポンプ付積載車5台)
その他消防施設などの改修に関する経費……………499万円
防災・災害対策に関する経費……………975万円
(防災無線電波負担金など)

25年度決算に基づく 健全化判断比率などの状況

地方財政健全化法では、「健全化判断比率」による四つの財政指標と、「資金不足比率」により、地方公共団体の財政状況を判断します。平成二十五年度決算に基づく各比率は次のとおりです。これまでの財政健全化対策の効果は着実に現れており、昨年度に続き改善傾向にあります。(各指標に算定される会計は「表1」参照)

実質赤字比率
一般会計などの赤字額が標準財政規模に占める割合。本町は収支赤字がないので該当なし。

連結実質赤字比率
全会計(財産区会計除く)の赤字額が標準財政規模に占める割合。本町は収支赤字がないので該当なし。

実質公債費比率
一般会計などが負担する公債費(借入金)が標準財政規模に占める割合。算定結果は一四・四%で、昨年度から増減がありませんでした。

将来負担比率
一般会計などが将来負担すべき実質的な債務が標準財政規模に占める割合。算定結果は一七・二%で、昨年度より一・三ポイント改善しました。

資金不足比率
資金不足額が公営企業の行う事業規模に占める割合。本町では、国保京丹波町病院・水道・下水道事業の三会計が対象となりますが、各会計で資金不足額がないので該当なし。



大規模災害からの速やかな復旧へ ボランティア活動等に関する 協定を締結

8月上旬に日本各地で被害をもたらした「平成26年8月豪雨」では、広島市での土砂災害や福知山市の水害のみならず、本町でも各所で被害が発生しました。近年、こういった被害からの復旧に大きな力を発揮しているのが「ボランティア」の存在です。町ではこのほど「災害時におけるボランティア活動等に関する協定」を締結しました。締結式の様子と、関連して開かれた町民講座の様子をお伝えします。



協定書に署名する寺尾町長と波瀬会長(役場議場・蒲生)

効果的なボランティア活動の推進へ
町では、ボランティア活動などに関する協定の締結式を、八月二十八日に役場議場で開催しました。式には、寺尾豊爾町長と町社会福祉協議会の波瀬孝澄会長のほか、それぞれの関係者が参加しました。締結式では、町の伴田邦雄理事が今回の協定締結に至った経過と協定書の趣旨を説明した後、寺尾町長と波瀬会長がそれぞれ協定書に署名しました。
調印後、寺尾町長は「協定に基づく運用とともに、社会福祉協議会と連携を密にすることで、安心・安全な

用語説明
【標準財政規模】町が一年間に自由に使える財源(お金の)の標準的な規模。本町は二十五年度決算で七十三億五、二八万円でした。
【早期健全化基準】基準値を一つでも超えると、自主的な改善努力を行うための早期健全化計画策定や外部監査が義務付けられます。
【財政再生基準】基準値を一つでも超えると、国などが関与して再生が行われるため、町独自施策の展開ができなくなるとともに、財政再生計画策定や外部監査が義務付けられます。

京丹波町の比率算定結果

①健全化判断比率 (単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
算定結果	—	—	14.4	117.2
参考				
24年度	—	—	14.4	133.5
23年度	—	—	15.3	143.7
早期健全化基準	13.93	18.93	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

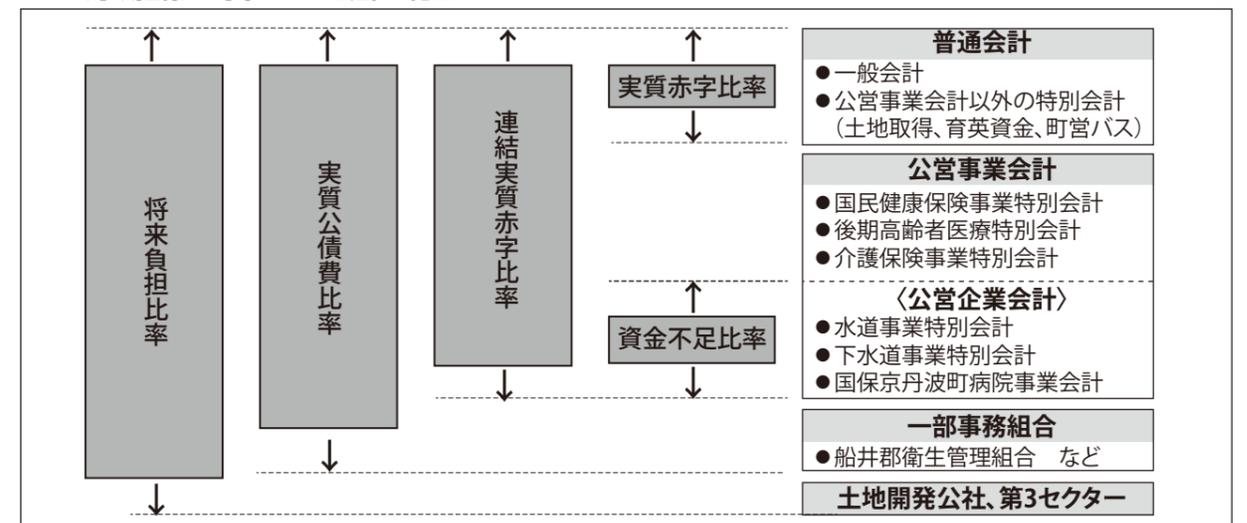
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表示しています。

②資金不足比率 (単位:%)

	病院事業	水道事業	下水道事業
算定結果	—	—	—
経営健全化基準	20.00		

※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」と表示しています。

4つの財政指標の対象となる会計の範囲 (表1)



町民が考える機会に
社会福祉協議会は、ボランティア活動に関する協定締結に合わせ、八月三十日、山村開発センターみずほで「災害に強いまちづくりを目指して」

と題して町民講座を開催しました。講座では、南丹市社会福祉協議会の榎原克幸事務局長による東日本大震災でのボランティア派遣と昨年の台風十八号での災害ボランティアセンターの活動報告などを交えた基調講演が行われた後、台風十八号により甚大な被害を受けた南丹市園部町横田地区の当時の区長石川善博さんと同区の防災委員長松本健さんを加えて、パネルディスカッションが行われました。

今回締結した協定書は、災害時におけるボランティア活動に関する協定書では、大地震などの災害が発生した際、町が災害対策本部を設置し、災害ボランティアセンターの設置が必要と判断した場合に、社会福祉協議会に設置を要請することとしています。また、本町の災害ボランティアセンターは、災害発生時に随時設置するものです。

まちづくりを推進していきます」と、災害発生時には、ボランティアの円滑な運用による被災住民の救援・復旧にあたる考えを述べました。



災害時の様子を話す石川さん(右)と松本さん(山村開発センターみずほ・大林)

石川さんらは、横田区において過去に発生した水害を教訓にしようとして、聞き取りをもとにした「横田区水害時の心得」を作成したことを報告。地域の「つながり」を大事にした防災への取り組みを説明しました。

京丹波町職員の給与の状況を公表します

【第5表】職員の平均給料月額・平均年齢・平均経年数(各年4月1日現在)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均年齢	平均経年数	平均給料月額	平均年齢	平均経年数
平成26年度	296,600円	41歳 2月	19年 8月	288,100円	52歳 3月	28年 1月
平成25年度	295,700円	41歳 4月	19年 11月	289,000円	52歳 6月	27年 4月

【第6表】職員の初任給の状況(一般行政職:平成26年4月1日現在)

一般行政職の初任給および採用2年経過日の給料月額は、第6表のとおりです。

区分	初任給			採用2年経過日の給料月額		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
京丹波町	172,200円	152,800円	140,100円	184,200円	164,300円	148,500円
国	172,200円	152,800円	140,100円	184,200円	164,300円	148,500円

【第7表】職員手当の状況(平成26年4月1日現在)

区分		京丹波町	国
扶養手当	配偶者	13,000円	本町と同じ
	配偶者以外の扶養親族1人につき	6,500円	
	職員に配偶者がいない場合はそのうち1人について	11,000円	
	16歳から22歳までの子の加算(1人につき)	5,000円加算	
住居手当	借家	家賃額に応じて27,000円が支給限度	
通勤手当	交通機関利用者	運賃など相当額(50,000円が支給限度)	
	交通用具利用者	片道2km以上で5kmごとに定める額(60km以上24,500円が支給限度)	

期末勤勉手当(平成26年度)

区分	京丹波町の支給率			国の支給率		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
6月期	一般職	1.225月分	0.675月分	1.9月分	本町と同じ	
	管理職	1.025月分	0.875月分			
12月期	一般職	1.375月分	0.825月分	2.2月分		
	管理職	1.175月分	1.025月分			
計	一般職	2.6月分	1.5月分	4.1月分		
	管理職	2.2月分	1.9月分			

注)職制上の段階・職務の級などによる加算措置があります。

退職手当

区分	京丹波町 平成26年4月1日~平成27年3月31日		国 平成25年11月1日~平成26年6月30日	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	21.62月分	27.025月分	本町と同じ	
勤続25年	30.82月分	36.57月分		
勤続35年	43.70月分	52.44月分		
最高限度額	52.44月分	52.44月分		
その他の加算	定年前早期退職特別措置(4~20%加算)		定年前早期退職特別措置(2~20%加算)	

注)京丹波町は、京都府内のほとんどの市町村が加入している「京都府市町村職員退職手当組合」の条例に基づいています。

【第8表】特別職の報酬などの状況(平成26年度)

区分	給料月額・支給率		
給料	町長	10%減額後 675,000円 減額前(750,000円)	
	副町長	10%減額後 558,000円 減額前(620,000円)	
	教育長	10%減額後 504,000円 減額前(560,000円)	
報酬	議長	300,000円	
	副議長	230,000円	
	議員	210,000円	
期末手当	町長・副町長・教育長	6月期	1.4月分(10%減額支給)
		12月期	1.5月分(10%減額支給)
		計	2.9月分(10%減額支給)
	議長・副議長・議員	6月期	1.4月分
		12月期	1.5月分
		計	2.9月分

【第9表】給与などの削減措置などの状況(平成26年度)

現在の厳しい財政状況を考慮し、臨時、緊急の措置として次のとおり削減措置などを講じています。

職員区分	措置内容	施行期日	
特別職	町長 副町長 教育長	給料・期末手当 10%減額	平成18~26年度
	議会議員	・議員が町の附属機関の委員などに就任した場合に受ける報酬の廃止 ・本会議および委員会出席における費用弁償の廃止	平成20年7月から
一般職	管理職	管理職手当 10%減額	平成19~26年度
特別職・一般職	全職員	・旅費支給基準の見直し ・府内出張の白当廃止 ・借上車賃単価の見直し	平成19年度から

注)時間外勤務手当の抑制のため、「ノー残業デー」の導入や、休日出勤・代休制度の見直しを図っています。

京丹波町職員の給与は、「京丹波町職員の給与に関する条例」など関係諸規定の定めるところにより支給されています。本年度における職員の給与などの状況について、広く町民の皆さんに知っていただくため、そのあらましをお知らせします。なお、ここに公表する職員の給与は、いわゆる「手取り額」ではなく、すべて税金や社会保険料などを差し引く前の額です。

① 人件費の状況

平成25年度決算(普通会計)における人件費および人件費率は次のとおりです。なお、この人件費には、特別職に支給された給与および報酬を含みます。

【第1表】人件費の状況(平成25年度:普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)%
平成25年度	15,807人 (平成26年3月31日現在)	122億9,266万4千円	5,660万6千円	17億1,569万円	13.96%

注)①普通会計とは、一般会計と公営事業会計を除く特別会計(町営バス特別会計・土地取得特別会計・育英資金給付事業特別会計)の合計を指します。
②実質収支とは、歳入歳出差引額から、翌年度に繰り越された事業に充当すべき財源を除いた決算額をいいます。

② 職員給与費の状況

平成26年度当初予算(普通会計)に計上された一般職員の給与費および一人当たりの給与費は第2表のとおりです。

【第2表】職員給与の状況(平成26年度:普通会計当初予算・一般職員給のみ)

区分	職員数(A)	給料	職員手当(期末・勤勉手当を含む)	合計(B)	一人当たりの給与費(B/A)
平成26年度	206人	6億9,933万5千円	3億8,116万9千円	10億8,050万4千円	524万5千円

【第3表】部門別職員数の推移

区分	職員数(人)			
	平成25年度	平成26年度	増減	
一般行政 (福祉関係を除く)	議会	3	3	0
	総務	54	55	1
	税務	12	11	△1
	農林水産	15	14	△1
	商工	3	4	1
	土木	17	16	△1
小計	104	103	△1	
福祉関係	民生	51	49	△2
	衛生	19	19	0
	小計	70	68	△2
一般行政計	174	171	△3	
特別行政	教育	28	27	△1
	小計	28	27	△1
公営企業 など	病院	49	50	1
	水道	8	8	0
	下水道	5	4	△1
	その他	18	19	1
小計	80	81	1	
総合計	282	279	△3	

(平成26年度地方公共団体定員管理調査より抜粋)

注)職員数は、一般職に属する職員と常勤の教育長を合わせたものです。(地方公務員の身分のある休職者や派遣職員も含みます)

【第4表】級別職員数の状況

(平成26年4月1日現在・行政職給料表の適用を受ける職員)

一般行政職などの給料月額は、6の級で構成される行政職給料表を適用することにより支給されています。それぞれの級の標準的な職務内容、職員数および構成比は第4表のとおりです。

(医師、医療技術員、看護師などは、医療職給料表(一)(二)(三)を適用しています)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事補・技師補・主事・技師	35人	15.84%
2級	主事・技師	17人	7.69%
3級	主査・係長・主任	114人	51.58%
4級	課長補佐・主幹	30人	13.58%
5級	課長・会計管理者	21人	9.50%
6級	参事・総括課長	4人	1.81%
合計		221人	100%

注)①職員数は、「行政職給料表」の適用を受ける職員で、給与条例に基づく給料表の級区分によるものです。

②標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する標準的な職務です。

いきいき健康術 第85回

花粉症には正しい知識で適切な対処を!

このコーナーは、町立病院診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。

今回の担当は、国保京丹波町病院の妹尾高宏先生。発症する人の多さから国民病とまでいわれることもある「花粉症」の治療法などに関するお話です。

スギ、ヒノキ、ブタクサなど花粉に毎年悩まされている方も多いでしょう。花粉が原因(アレルゲン)となつて起きるアレルギーが花粉症です。くしゃみや鼻水、目のかゆみだけでなく、喉のかゆみやイガイガ感、皮膚のかゆみ、頭がボーっとする、眠れないなど、鼻や目以外の症状が現れる人もいます。花粉症は年々増加しており日本では二九・八%の人に花粉症が認められ三〜四人に一人は花粉症です。スギ二〜四月、ヒノキ二〜五月(樹木は遠くまで花粉が飛ばす)、ハンノキ三〜四月、イネ科(カモガヤ、ハルガヤなど)五〜十月(六月は梅雨で少ない)、ブタクサ八〜十月、ヨモギ九〜十一月などが代表的な花粉症の原因です。温暖化により年々飛散時期は長くなっています。

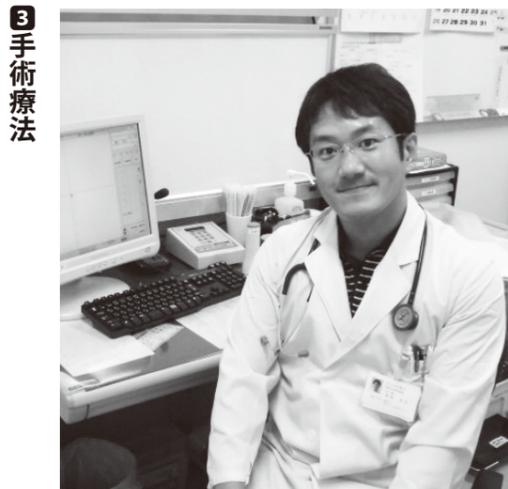
花粉症の対処法と治療法

①花粉(アレルゲン)の除去・回避

外出時にマスクやメガネを着用、洗濯ものは屋内に干す、掃除ではぬれ雑巾やモップで床を拭くなどの方法で花粉を避けてください。

②薬物療法

飲み薬や鼻に噴霧する薬、目薬などで、花粉症の症状を緩和します。症状にあわせてさまざまな組み合わせで処方します。症状ができれば速やかに治療をはじめ、症状がなくても花粉飛散予測日(くすりによつて二〜三週間前)から治療を開始することをオススメします。



内科医師 妹尾 高宏 先生(国保京丹波病院)

③手術療法

花粉症ではあまり行われませんが通年性アレルギー性鼻炎に対しては、薬での治療が効かない方にレーザー治療などが実施されています。

④アレルゲン免疫療法

今月から認められた新しい薬による治療です。アレルギーの原因となるアレルゲンを少量から舌の下に投与することで体をアレルゲンに慣らしアレルギー症状を和らげる治療法です。きちんと原因を診断し三〜五年間続ける必要がありますが、症状をおさえる従来の薬物治療と違って、「花粉症を治す」または「長期にわたつて花粉症の症状をおさえる」ことが期待できます。実施できる医療機関は限られますが治療の詳細や治療ができるかなどお気軽にご相談ください。

お知らせ

京丹波町病院では平成二十六年四月から土曜日の内科・小児科の午前診療を、毎週行っています。
☎86-02220

被害にあわないために

■特殊詐欺等被害撲滅キャンペーン

被害件数が急増している特殊詐欺などの撲滅を目指すキャンペーン(京都市主催)が、九月三日、町中央公民館で行われました。

このキャンペーンは、息子や警察官などを装った振り込み依頼や架空請求などの「振り込み詐欺」や、金融商品などを名目とした

た詐欺などに代表される特殊詐欺の撲滅を目指し、京都市内四カ所で開催されるものです。

約百人が参加したキャンペーンでは、南丹警察署員が、警察官を装って高齢者宅に電話をかけて現金をだましとる詐欺の事例を紹介したほか、落語家の桂三風さんによる詐欺被害を題材にした落語の上演、トークショーなどが行われました。

トークショーに出演した南丹

警察署水原駐在所の寺村研二警部補は、南丹警察管内でも今年に入り二件、七二〇万円の被害が発生していることを報告し、「だんだん巧妙になっていきます。(電話機の番号表示などを活用し、)知らない電話は取らないようにして、知っている人ならかけ直すなどの対策を取ってください」と、来場者に被害にあわないための方法を話していました。



来場者を前に寸劇で詐欺の事例を紹介する南丹警察署員(町中央公民館・蒲生)

交通事故防止を描き受賞

■交通安全啓発ポスターコンクールポスターコンクール表彰式

交通安全啓発ポスターコンクール(南丹船井交通安全協会京丹波支部主催)の表彰式が九月二十八日、山村開発センターみずほで行われました。

今回で九回目となるコンクールには、町内の小・中学校から三百三十点の応募がありました。表彰式では、その中から選ばれた特選三

点、優秀賞六点、佳作十七点の表彰が行われました。入賞した子どもたちは、保護者などが見守る中、表彰状を受け取りました。

コンクールの応募作品は、十月二十一日から十一月三日まで丹波マーカーズ、十一月十日から二十一日まで京丹波町病院、十一月二十六日から十二月七日まで道の駅「和」道路情報センターで展示されます。

なお、特選に選ばれた皆さんは次のとおりです。

【特選】

(京丹波町長賞)

高橋怜奈(瑞穂中一年)

【特選】

(南丹警察署長賞)

三宅心海(竹野小一年)

【特選】

(南丹船井交通安全協会長賞)

竹口菜々瀬(蒲生野中二年)



表彰状を受け取る受賞者(山村開発センターみずほ・大朴)

平成27年の年男・年女の皆さん 広報京丹波で抱負を語ってみませんか

広報京丹波では、平成27年1月19日発行の広報京丹波第111号に掲載予定の「年男・年女の皆さんに聞きました今年の抱負」に登場していただける町民の方を募集します。

人生の節目の1年、「今年は〇〇な1年にしたい」、「〇〇にチャレンジしたい」など、平成27年における思いを語ってみませんか。

下記の内容で募集しますので、ぜひご応募ください。

対象者
平成27年中に年男・年女となられる町民の方 (大正8年、昭和6、18年、30年、42年、54年、平成3年、15年生まれ)
各年代1人
応募期限
11月21日(金)午後5時まで
応募方法
電話またはファックスで、下記までご応募ください。
その他
応募者が複数ある場合は、 抽選により決定させていただきます。
問い合わせ・応募先
企画政策課 広報広聴係 電話 82-3801 ファックス 82-2500

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税制度により、株式会社京都環境保全公社から「豊かで美しい環境を守るまちづくりに役立ててください」と、100万円の寄附をいただきました。ありがとうございました。

わたしたちの町

人口
15,640(-33)
男
7,389(-11)
女
8,251(-22)
世帯数
6,430(-1)
10月1日現在()は前月比

義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額
義援金 9,210,731円
復興支援募金 6,259,031円

*平成26年9月30日現在

まずは思考の整理から

■きらりセミナーII

町と町きらりネットワークの会(山内和代会長)主催の男女共同参画推進事業「きらりセミナーII」が、九月十三日、和知ふれあいセンターで行われました。約百人が参加した講座では、「かたづけオーガナイザー」として活躍するばんばみーあさんが、人それぞれの価値観を尊重する思考の整理から入る

片付けについて話しました。ばんばみーあさんは、片付けることについて、頭の中(考え方)を整える「整理」から、動線を考えた配置を考える「収納」、考えに基づいて物を動かす「整頓」と元の場所へ戻す「片付け」につながると説明。物を動かすことから始めがちがな片付けに対する考えを話しました。また、「片付けに男女は関係ありません。相手と共感し合って相談すれ

ば、うまくまとまっています」と、家庭内の価値観の共有も大事であると話しました。参加した熊谷じゅん子さん(実勢)は「難しい話でしたが、理論的にやれば、うまくいくのがわかりました。早速やってみよう」と、今までと違う片付け方法への意欲を見せていました。



参加者に語りかけながら講演するばんばみーあさん(和知ふれあいセンター・本庄)

助かる命を増やすために

■普通救命講習会

緊急時に命を救う応急手当の方法などを学ぶ普通救命講習会が、九月十三日、町中央公民館で行われました。この講習会は、九月九日の救急の日と九月七日から十三日までの救急医療週間を取り組みとして、園部消防署が開催したものです。小学生から七十代までの参加者は、万一の時に備えた人工呼吸や胸骨圧迫、自動体外式除細動器(AED)を使った救命法などを学びました。

実技の講習に先立って行われた講義では、園部消防署丹波出張所の大塚祥毎救急救命士が、映像で救命法の説明とともに、救命率などについて説明。「救急車が到着するまでに、その場に居合わせたら人が救命処置をすることで救命率が上昇します。助かる命を増やすためにも協力をお願いします」と、参加者に呼びかけました。参加した樋口武洋さん(安栖里)は「ときどき見かけるようになったAEDの使い方に関心があつて参加しました。(今回の講



胸骨圧迫などを実践する参加者(町中央公民館・蒲生)

習で)いざというときに使えれば」と、受講した手ごたえを話していました。



ハードルを飛び越えゴールを目指す児童(瑞穂小グラウンド・橋爪)

活性化の拠点づくりを語る

■想い出の学舎活用シンポジウム

閉校となった小学校の活用などを考える想い出の学舎活用シンポジウム(京都府南丹波振興局主催)が、九月二十七日、地元住民などにより「質美笑楽講」として活用が進む旧質美小学校の体育館で行われました。

シンポジウムでは、徳島県勝浦町での農村体験宿泊施設としての活用事例の発表や、全国各地での学校

活用の事例報告が行われました。また、会場となった質美笑楽講を活用する団体の代表である高橋弘さんが、活用までの経過と、現在の活用状況を報告しました。質美地域振興会の会長でもある高橋さんは、小学校が閉校することが決定してから、地域内の多くの方がかわり数十回の検討を重ねて活用を始めたことや、徐々に利用者が増えてきていることなどを話し、「地域にどれだけの愛情を



活用経過を話す高橋弘さん(質美笑楽講体育館・質美)

スポーツの秋に競い合う

■町内小学校運動会

竹野小学校を除く町内四小学校で九月二十日、運動会が開催されました。児童たちは、授業などで練習した成果を発揮し、それぞれの競技に参加しました。瑞穂小学校の運動会では、同校の生徒が三チームに分かれて参加。秋空のもと、徒競走をはじめハードル走や綱引きなどの競技で勝利を目指しました。

グラウンド周辺には、多くの保護者などが訪れ、力を出し切ってがんばる生徒たちを応援していました。

竹野小学校の運動会は、校区となる竹野地域の住民とともに、九月二十七日に開催されました。



秋の丹波路を駆け抜ける 「2014京都丹波ロードレース」を開催します

京丹波町の秋の一大イベントとして毎年開催している「京都丹波ロードレース」。

大会当日には約3,800人のランナーが集い、秋色に染まる山々に囲まれた丹波路を駆け抜けます。コース沿いからのあたたかい声援をよろしくお願ひします。

また、発着点である丹波自然運動公園では、来園される皆さんに京丹波の秋を存分に楽しんでいただける「うまいもの市」、丹精込めて栽培された作品が並ぶ「菊花展」などを開催します。ご家族や友人などお誘い合わせで来園いただき、深まりゆく京丹波の秋を満喫してください。

日時	11/3(月・祝) ※雨天決行	スタート	<3km>午前10時20分
	選手受付 午前8時～10時		<5km>午前10時40分
発着点	開始式 午前10時～	主催	<10km>午前10時50分
	丹波自然運動公園		<ハーフ>午前11時

発着点 丹波自然運動公園
主催 京丹波町、南丹市陸上競技協会、京丹波町体育協会、京都府立丹波自然運動公園



うまいもの市 & 菊花展

恒例の「うまいもの市」では、地元で採れた農産物や特産品をはじめ、食の宝庫「京丹波」を満喫できる、旬の食材をふんだんに使った料理などを販売。「菊花展」は**10月21日(火)～11月3日(月・祝)**まで開催し、菊愛好家が丹精込めて育てたさまざまな種類の菊を展示します。

- 開催時間：午前10時～午後2時
- 開催場所：丹波自然運動公園中央広場



「爽り」「スポーツ」「文化」「食欲」。「秋」をイメージする言葉は、たくさんあります。

皆さんにとって「秋」は、どんな季節でしょうか。

10月に入り、町内のあちらこちらでは、黒大豆枝豆の直売所が、本町を訪れる人たちに好評を博しています。そのおいしさから、つい枝豆を取る手が止まらなくなってしまうのですが、この味を楽しめるのも1年にこの季節だけ。京丹波町の特産品の一つを存分に楽しんでみたいと思います。(T)

【おわびと訂正】
広報京丹波第107号の11ページの4段目「飲酒は1回1合まで」は「飲酒は1日1合まで」の誤りでした。おわびして訂正します。

京丹波町のシンボル

【町の鳥】 うぐいす	【町の木】 イチヨウ	【町の花】 つつじ
		